

# 見附市教育センターだより



〒954-0052

見附市学校町2-7-9

電話/Fax 0258-62-2343

E-mail [mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp](mailto:mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp)

令和4年9月26日 NO.6

小学校6年親善体育大会

男子1500M：スタート

## 児童生徒のアウトプットを大切に(パート2)

師がく指導者 海藤 英紀



一学期に参観した「師がく」から、子どもの考えをうまく引き出したり生かしたりして、授業を進めていた実践(M小:K教諭)を紹介します。

6年生 社会 単元名「私たちの暮らしを支える政治—税の意味や役割—」

### ○ 授業のねらい

消費税引き上げ理由の話し合いを通して、引き上げは少子高齢化の現代において、社会保障費の安定な財源確保が目的であったことを理解し、税の意味や役割に対する見方を得る。

◇ 学習過程(1から5のように進められた) \*私が良かったと考えることを太文字で記す。

### 1 ウォーミングアップ…班ごとに国に関わるクイズを出し合う(2~3分)

(ここで大切なのは、休憩(休み時間)モードから学習(授業)モードへの切り替え

→簡単なことから始めると、学習の構え、集中力の育成が図られる)

### 2 学習課題◎の提示(教師から課題と解決のための資料の提示をする)

◎「反対する人がたくさんいたにもかかわらず、どうして政府は消費税を上げたのか？」

### 3 自力解決(まず自分の力で考える)

ノートに自分の考えを書く。教師の机間巡視(メモを取り、個別指導や次の展開を模索)

### 4 話し合い 政府はお金が必要だからという意見から、高齢者の社会保障や子どもの社会保障、公共事業の他、様々な視点から意見が出され活発な意見交換がなされた。(子どもたちの意見に対して、教師は補足説明の資料をいくつか提示した。用意してある資料棚を、子どもから「どこでもドアみたい」というつぶやきがあった。)

(→教師は子どもの考えを予想し、その対策を考え臨んでいた。)

### 5 まとめ 出た考えを教師は3点に集約し、子どもたちがまとめた。

以上が授業の流れです。この授業から私が学んだことは、授業の中で子どもが考えたことや記述したことを、教師はどう扱うのか、どう生かすのかをいろいろと想像力を働かせて、それ以後の授業の組み立て、子ども同士の関わらせ方、まとめ方を考えていたことです。まとめ方については、虫食い方式やキーワード方式もあるでしょう。各自が書いたまとめを、隣り同士で「今日のまとめ」を言い合うこともよいでしょう。

このK教諭のように、子どもの考えを予測して、その対策を考えて授業に臨み、子ども一人一人の考えを上手に引き出したり、生かしたりする授業を行ってほしいものです。



## 巻頭写真に寄せて =秋晴れの中、「親善体育大会」が開かれる=

◇新型コロナウイルス感染症のために、2年間中止だった小学校6年生の『親善体育大会』が9月14日(水)に、さわやかな秋晴れの中、見附運動公園で開催された。競技(種目)数は、これまで通りに行われたが、これまでの一日日程が、半日で実施をされた。

◇開会式で、見附第二小学校の磯部遼太郎さんが「…悔しい思いをした中2、中1の先輩たちの分も、精一杯に頑張りたい…」の力強い選手宣誓に大感動をもらった。競技は女子800Mからスタートをした。



選手宣誓をする磯部君

◇選手の日焼けをした姿から、8月後半から多くの練習を積み大会を迎えたことがわかった。また、100Mでフライングがあったり、走り高跳びで一度に跳ぶことができなかつたりする場面もあったが、磯部さんが選手宣誓で言った「精一杯に頑張りたい」が、全選手から感じることができた。特に、巻頭写真の男子1500Mのスタートでの低く構えた姿勢から、他の選手との競走ではあるが、「このレースで、自己新記録を出すんだ!」が強く窺えた。

◇この大会は、声を出しての応援はできなかったが、応援席で自校の選手に大きな拍手による声援が、競技する選手が走ったり、跳んだり、投げたりする大きな力になっていた。(下写真)声出しや保護者の応援が可能になれば、さらに大きな頑張りにつながるであろう。卒業アルバムの撮影をする業者さんに交じり、デジカメで撮った写真であるが、様子が伝わればと思う。



## コラム =「天地人」から、いろいろと考えた・・・=

◇今春、教育団体研修の県大会が3年ぶりに長岡市で開催され、K教育長の話聞く機会があった。当日は延期されていた映画『峠』の直前で、話は河井継之助に触れ、次いで長岡市は優れた人材を輩出してきたと、与板城主であった直江兼続(NHK大河ドラマ『天地人』)を話し、孟子の教えである『天地人』を解釈され、「人の和が一番大事だ」と結ばれた良い話であった。

◇河井継之助が民の暮らしを守るために、長岡藩の武装中立を目指し、新政府軍との交渉に尽力したことは知っている。だが、交渉が決裂し戦争になり、多くの犠牲者が出て、長岡の町も今町も焼野原になってしまった事実もある。私はこれまで、河井継之助や長岡藩に、やや負のイメージを抱いてきた。それは、大河ドラマ『天地人』の作者の火坂雅史に、新潟湊を舞台に描いた『新潟樽きぬた』による。江戸時代、不況と天候不順に苦しんでいた明和年間(1760年代)、新潟を治める長岡藩が加重な御用金を要求し『新潟湊騒動』が起きるという内容である。

◇火坂雅史が同年代で新潟市出身ということもあるが、彼の歴史小説が大好きで『天地人』も良いが、この『新潟樽きぬた』は最高である。江戸時代、新潟湊が北前船で繁栄をしていたことや、新潟芸妓の心意気をこの作品は教えてくれる。騒動の主要な者が長岡藩により処刑をされたが、新潟の町人たちが彼らを祀り、今も古町通りで『明和義人祭』が盛大に行われている。

◇火坂雅史には、もっと作品を発表して欲しかったが、若くして7年前に亡くなってしまった。さて、新潟日報に妻の洋子さんが『愛と義のひと 追想 夫・火坂雅史』を連載していた。そこで、「火坂が中学1・2年を長岡市の南中学校で過ごした。野球部に入り帽子のつばに“愛”と書いていたそうである。なぜ“愛”と書いたかは思い出せなかったそうだが、この長岡での生活がなければ『天地人』は誕生しなかったかもしれない…」と知った。火坂雅史は、長岡が好きだったのである。そして、私の長岡藩に対するイメージもプラスへと変わってきた。(こ)

## 4時から夢塾 「ネット社会の光と影・・・」

第7回は9月2日(金)に、新潟市立木崎小学校校長の島津弘次先生から「ネット社会の光と影とそれでも使わなければならないタブレットのお話」を演題にして、指導を頂いた。指導内容を簡単に紹介する。



### 1 Singularity「技術的特異点」 AIが人間を超える時→2045年説

- AIが人類に代わって文明の進歩の主役になる日
  - ・ Society 5.0 (超スマート社会)→政府の示す社会。政府広報で見られる。 島津弘次 先生
  - ・ 既に身近にある例・ユニクロのレジ(ユニクロの示した未来)・RFID タグの導入(3年前)。
  - ・ すごい迫力のゲーム・PlayStation 5・Oculus Quast 2→不登校の子に有効?既に開発中。
- PC, ネットワーク技術の進化に可逆性はない→あつて当たり前の道具を上手に利用。

### 2 クロームブックの持ち帰り

- 優れた文房具・調べる。練習する。まとめる。作る→今までより容易, 短時間でできる。
- 怖い道具・いじめ。いたずら。いじわる→とても抵抗感あり。悪いことが起こるのでは・・・
  - ・ あるアンケート調査で・着替えの盗撮。悪口の歌→AirDropで共有。中毒のようになる→情報モラルの指導が必要になる。



### 3 情報モラルって何?

- 情報社会で適切な活動をするための基となる考え方と態度
  - ・ 責任をもつ。正しく安全に利用できる。健康との関わりを理解する。
  - ・ どこから手を付ければいいのか。指導する内容に自信が持てない。→情報モラルはどの教科・領域でも指導できる。やり易いところから。
- 情報モラル欠如によるトラブル ( ) は, 指導ができる教科・領域
  - ① ネット依存 (道徳・保健) ② 相手とのやり取りで問題 (国語・学活・道徳) ③ 自分が被害者・加害者になる (道徳・学活)
- 情報モラル=日常モラル+情報技術の特性
  - ・ これは情報社会が進展しても不変の構造である。
  - ・ 互いの得手・不得手を補完してTTによる指導をする。
- 進め方は, 全職員で, 継続的に, 系統立てて行うこと。
- ゲーム依存が目に見える影響・視力の問題はなし。斜視になり易い。



### 4 大学勤務時に「メディアと健康」の出前授業を実施

- 子どものゲーム依存レベルで, 依存症になること。→依存外来紹介。

#### <参加者の声>

- ・ 私の年代(50代)の教師もしっかり学んで「上手に使っていくしかないな」と改めて感じた。
- ・ あつて当たり前・優れた文房具のPCに, 毎日子どもたちとさわり, 身近なものにしたい。
- ・ Singularity, ユニクロのレジのお話は, 実社会の動向との関連から興味深い内容だった。
- ・ 情報モラルの指導をする上で大切な視点, 知識が得られた。特に健康面のことを多く学べた。
- ・ 目の前の子どもたちに「日常モラル」を育てることの大切さを改めて学ぶことができた。
- ・ 時代の流れに合う指導をするために, 自分自身の情報収集能力を高める必要があると感じた。
- ・ ネット依存は危機感をもっている。指導を全校体制でやっていけるようにしていきたい。



## 4時から夢塾

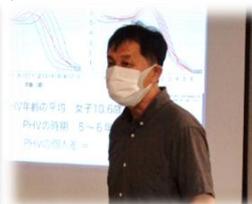
## 「子どもの成長と運動」



第8回は9月13日(火)に、新潟県立大学 人間生活学部 子ども学科長の伊藤巨志教授から標題をテーマに指導を頂いた。指導内容を紹介する。

### 1 発育(Growth)と発達(Development)

- 発育・身体の形態的変化, 量的変化が直接変化しないもの(できないもの)。伊藤 巨志先生
- 発達・身体の機能的変化がその機能の発揮に直接関与するもの(しうるもの)。
- 身長の間年増加量が最も多い時期⇒PHV ・発育過程の基準の個人差(成熟の個人差)
  - ・PHV 年齢の平均 女子10.6歳 男子12.8歳 PHVの時期 5～6年のばらつき
  - ・身長の伸び終わった後, どこで伸びていくか⇒栄養・運動・休養が必要になる。



- 骨の成長(子どもの膝)・成長板:軟骨細胞 ・加齢とともに薄くなり, 骨端と骨幹が合体⇒成長板が閉じる(成長完了)。女子16～18歳 男子18～21歳
- 発育に伴う筋重量の変化・筋重量の差は12～15歳で顕著になる。
  - ・筋量の加齢変化・35歳でピーク。緩やかに減り, 60歳以後, 激減⇒筋トレが必要。
- 運動発達の特徴・乳児の歩く(移動)運動で大切なのが「はいはい」
  - ・はいはいで, 手足とともに首の筋肉を鍛える。⇒顔の怪我の予防。歩く動作の練習。
- 疾走速度は12歳頃までほぼ直線に増大。歩幅は疾走速度と同傾向。乳児期に急速に増大。

### 2 運動とスポーツ 運動の多様性・1つのスポーツ種目に早い段階から専門化しない。

- 運動が「楽しかった」経験を多種目です。いろいろな身体の使い方を知る。
- 運動能力は, 筋力・持久力・瞬発力等の運動体力と運動コントロール能力:調整力である。
  - ・運動協応と知覚・予測・意思決定・記憶等は関係性があり, 多様な運動をすることで神経回路(路線図を例に示す)の形成に役立つ⇒幼児期に体験しておくことがとても大切!
- ゴールデンエイジは9～12歳。一生に一度だけ訪れる, 即座の習得を備えた時期。
- 運動発達は, 神経と筋の協調性の発達に支えられている。⇒能力は「脳力」である。
- 自己実現のためには, 自分が何のためにスポーツをやっているのかの哲学が大切である。



### ＜参加者の声＞

- ・はいはいの大切さや身体を動かす遊び等, 分かり易く話して頂き保育のヒントが得られた。
- ・低学年は様々な動きの運動を体験させて, いろんな筋力をつけることが大事だと思った。
- ・幼児期の体の発育と神経の発達に多様な動きの必要性を学んだ。路線図でイメージできた。
- ・「1つのスポーツ種目に早い段階から専門化しない」話で, 多様な運動により多様な神経回路の形成につながり, 運動のバリエーションが広がるということが, 理論的によくわかった。

9月



# 科学教育部



《今日の1枚》 キアゲハチョウ  
～教育センター駐車場～

## 【夏休み作品展～工夫と努力～】

今年の夏休み作品展も、ものづくりや観察記録など、工夫を重ねた作品が多くありました。自分の作品作りに没頭したり、努力したりすることは、お金では買うことのできない時間だったと思います。9月24日・25日に「ネーブルみつけ」を会場にして作品展を開催しました。小学校 150 作品、中学校 40 作品の計 190 の力作が出品されました。ありがとうございました。

<p>「見附市児童生徒夏休み作品展」 会 場：ネーブルみつけ</p>	<p>9月24日(土) ～25日(日) 9:30～16:30</p>	<p>市内190作品 小学校150作品 中学校 40作品</p>
--	--	--

## 【科学研究発表会～探究と試行～】

各校の先生方からご指導いただき、今年度も見附市児童生徒科学研究発表会を開催することができます。ありがとうございます。「小学校1・2年生部会5作品」「小学校3・4年生部会10作品」「小学校5・6年生部会8作品」「中学校11作品」の応募がありました。興味をもったことを探究しようとするところから研究は始まります。そして、研究は試行錯誤の繰り返しです。他の生徒たちの探究と試行の足跡から学び、科学を探究する心を育て、高める場となることを願っています。

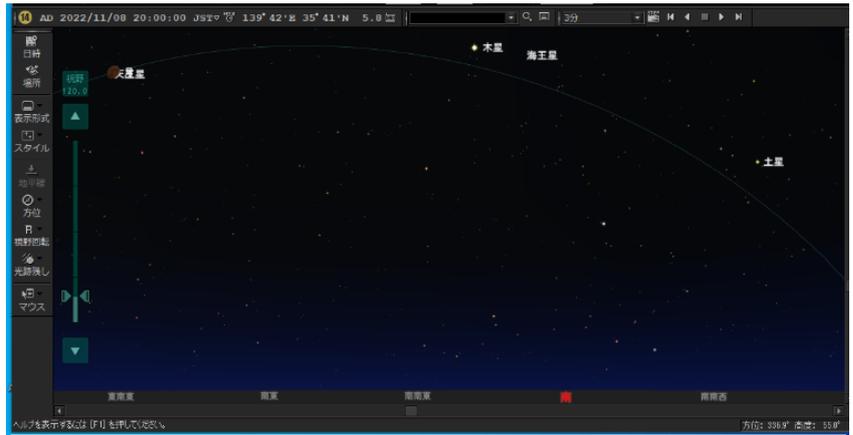
<p>「見附市児童生徒科学研究発表会」 会 場：見附市中央公民館</p>	<p>10月6日(木) 14:05～16:20</p>	<table> <tr><td>小学校1・2年生</td><td>5作品</td></tr> <tr><td>小学校3・4年生</td><td>10作品</td></tr> <tr><td>小学校5・6年生</td><td>8作品</td></tr> <tr><td>中学校</td><td>11作品</td></tr> </table>	小学校1・2年生	5作品	小学校3・4年生	10作品	小学校5・6年生	8作品	中学校	11作品
小学校1・2年生	5作品									
小学校3・4年生	10作品									
小学校5・6年生	8作品									
中学校	11作品									

# 科学の公園

## 天体観察会（11月8日）の星空～皆既月食と天王星食が観察できます～

天体観察会を予定している11月8日の20時の夜空です。この日は、皆既月食が起こります。月食中に天王星食も起こります。今年最大の天体現象です。

ぜひ興味がある方は参加できますので、教育センターまで連絡ください。



11月8日20時の夜空



11月8日の夜、皆既月食が起こります。この月食は、日本全国で観察することができます。南西諸島では、部分食の始まり時点での月の高度がまだ低いです。多くの地域で月の高度がある程度高くなる時間帯に皆既食となり、観察しやすいでしょう。

各地での予報は下の表のとおりです。月は、18時9分から欠け始め、19時16分に皆既食となります。皆既となった月は、「赤銅色（しゃくどういろ）」と呼ばれる、赤黒い色に見えます。

皆既食は86分間続いて20時42分に終わり、その後は徐々に月は地球の影から抜けて、21時49分に部分食が終わります。この進行は、どこで見ても同じです。

月食の最中に、小笠原諸島を除く日本のほとんどの場所で、月が天王星を隠す「天王星食」が起こります。天王星は約6等級で、薄い青色に見えます。非常に条件の良い空でも肉眼で見える限界の明るさですから、双眼鏡や望遠鏡などを使って探してみるとよいです。普段の満月のすぐ近くであれば、圧倒的な明るさに負けてしまいますが、多くの地域では天王星の潜入時に、月が皆既食中で暗いため見つけやすいです。

(参考資料・参照画像：国立天文台HP)